

学年：4年	単元名：算数で読みとこう「食べ残しをへらそう」
1. 単元目標：（全2時間）	
○既習内容を活用して棒グラフや折れ線グラフ、表を考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。	
考判表・目的を達成するために必要な情報を見つける。 ・表やグラフを考察する。 ・論理的に考え、根拠を持って、説得力のある話をする。	
知・技・ ・	

2. 指導内容

- ・
- ・

3. 指導のポイント

○グラフや表の読み取り ①課題について予想を立てる。 ②予想を裏付ける資料を探す。（表・グラフ など） ③予想を否定する資料を探す。（表・グラフ など） ④課題について考察し、結論を出す。 ⑤課題にまつわる事柄について問題点や課題はないかを探す。 ⑥みんなに説明するための資料をつくる。（論理的にまとめる。） ⑦わかりやすい説得力のあるプレゼンテーションをする。 ※この中で、何に重点をおいて指導するかを前もって、計画することが大切である。
--

4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1・2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○残食の原因を調べ、その対策を考えよう。

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 T:今日は、グラフや表を見ながら残食の原因について調べます。 残食の原因は、何だと思いますか。 C:好き嫌い。量。お腹が減っていなかった。時間が足りなかった。・・・・・・・・ T:では、一番の原因は、何だと思いますか。→C:好き嫌い。 T:では、それが、当たっているかどうか確かめていきます。 まず、残食の量と気温は関係あるかどうか調べます。 データ1にデータ2を重ねてかいてみましょう。（重ねてかいたものを配布してもよい） T:どうでしょうか。 C:関係はない。（理由を述べる。） T:そうですね。関係がありそうなところもありますが、全体を見てみると関係なさそうです。 T:では、残食の量と好き嫌いについて調べていきます。 残食の多かった日：4日と13日 残食の少なかった日：6日と12日 について調べます。 では、この4日間とデータ3のその日の主な料理の関係を調べて、表にかきましょう。 C:表の作成（枠を与えてもよいし、指名して一斉指導でもよい。） ①残食の多い日 ・4日：ししゃも・野菜スープ・ ・13日：さばみそに・野菜スープ ②残食の少ない日 ・6日：ハンバーグ・海そうサラダ ・12日：カレーライス・海そうサラダ T:この表とデータ4とデータ5を見て、残食が、好き嫌いと関係があることを根拠をはっきりして、説明しましょう。	
2. 自力解決 ○個別に文章表現等で、記述する。→グループで話し合い→WBに意見をまとめる。	
3. まとめ・ふりかえり T:では、発表してもらいます。→各グループ発表 T:ということで、残食の大きな原因は、「好き嫌い」であるという結論になりました。 残食をへらすには、「好き嫌いをなくす」ことが、一番ですが、なかなかうまくいかないのが、現実です。ほかの原因は、どんなものだろうか調べた結果がデータ6です。 データ6を見て、残食をへらすには、これからどうしていけばよいかを考えましょう。 C:自分の考えをかく。→数人発表→ノート回収 ・一番の原因をなくすよう努力すべきだ。 ・一番の原因は、なかなかなくすことができないので、そのほかのことで努力すべきだ。 ・私は、早く食べようと思います。 など。	